

< 小学校授業計画事例 >

1 単元名 世界に歩み出した日本（生活や社会の変化）

2 単元の目標

- 日本の国力の高まりとそれを支えた人々のくらしの様子や生き方に関心を持ち、意欲的に調べようとする。 （関心・意欲・態度）
- 日本の近代国家としての発展の様子とそれに伴う諸問題を、外国との関係や国内のさまざまな民衆運動の高まりと関連させて考えることができる。 （思考・判断）
- 年表・文献・写真・地図などの資料を活用して、日清・日露の戦争以降の日本の近代国家としての歩みをまとめることができる。 （技能・表現）
- 日清・日露の戦争における勝利や不平等条約の改正、科学発展などにより、日本の国力が高まり、国際的地位があがったことと、社会の民主化を求めて民衆が立ち上がり、さまざまな運動を展開していったことを理解する。 （知識・理解）

3 単元計画（9時間）

主 な 学 習 活 動	配時
1 陸奥宗光と不平等条約の改正 ○ ノルマントン号事件をはじめとする不平等な条約による問題を考える。 ○ 政府の条約改正への努力を調べ、二つの戦争の影響や条約改正を進めた人々の働きについて考える。	2
2 中国やロシアと戦う ○ 日清・日露の戦争のようすについて調べ、民衆への影響や朝鮮・中国の人々に与えた被害の大きさについて知るとともに、二つの戦争と条約改正とのつながりを考える。	1
3 朝鮮を植民地にする ○ 二つの戦争の後、日本の朝鮮に対する政策と朝鮮民衆の粘り強い抗日独立運動について調べ、植民地にされた朝鮮の人々の思いについて考える。	1
4 国際社会で活躍する日本人 ○ 明治以降、国際社会で活躍した科学者の働きを調べ、科学の面での発展について話し合う。	1
5 生活や社会の変化 ○ 第一次世界大戦後の工業の飛躍的な発展とそれを支えた人々の労働やくらしのようすについて調べ、自らの手で生活を守っていこうとする民衆の力が社会に大きな影響を与えていったことについて話し合う。 ○ 米騒動から学習問題をつくり、社会運動について調べる。 <b>（本時①）</b> ○ 水平社創立の過程を調べ、水平社運動が与えた意義と、差別された人々が自らの力で立ち上がり、差別と闘い、差別をなくしていこうとした生き方について考える。 <b>（本時②）</b> ○ さまざまな社会運動の広がりについて調べ、まとめる。	4

#### 4 本時の主眼及び展開

##### 本時①の主眼

- 米騒動をきっかけに起こった農民運動や労働運動の目的を調べ、それぞれの運動にこめられた思いや願いを理解する。

##### 本時①の展開

配時	学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
5	<p>1 前時をふり返り，学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 米騒動をきっかけに起こった社会運動について知る。</p> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 米騒動をきっかけに，組織的に世の中の不合理に対して運動を起こしていくようになったことをとらえさせ，本時のめあてを設定する。</p>
<p><b>どんな思いや願いで，さまざまな社会運動は，展開していったのか調べよう。</b></p>		
3 5	<p>2 それぞれの運動についてまとめる。</p> <p>(1) 農民運動や労働運動，差別をなくす運動について調べる。</p> <p>(2) 各自が調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農民運動→小作料の引き下げ 条件の改善</li> <li>・ 労働運動→賃金の引き上げ 労働時間の短縮</li> </ul> <p>(3) それぞれの運動にこめられた思いや願いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活をよくしたい</li> <li>・ 豊かな暮らしをしたい</li> <li>・ 人間らしい暮らしをしたい</li> </ul>	<p>○ 教科書をもとに調べさせる。</p> <p>○ それぞれの運動の目的を調べさせ，調べたことからそれぞれの運動にこめられた思いや願いについて交流させる。 (個人→グループ→全体交流)</p> <p>○ 全国水平社について調べ学習をしておき，次時で取り上げる。</p>
5	<p>3 本時学習をまとめる。</p> <p><b>同じ思いをもった人々が団結して，社会運動が広がった。それぞれの運動は，暮らしをよくしたい，という共通の思いがこめられている。</b></p>	<p>○ 米騒動のように自分たちの生活苦に対する運動だけではなく，広く社会全体を改善していこうとする動きや，人権を求めようという動きが出てきたことをとらえさせる。</p> <p>○ 次時は全国水平社創立にこめられた思いや願いについて学習をしていくことを伝え，意欲をもたせる。</p>

## 本時②の主眼

- 水平社創立の目的と内容をとらえ、差別されてきた人々の思いとさまざまな問題を自らの手で解決しようとする運動へつなげていったことを理解する。
- 平等な社会を求める人々の意識の高まりについて、資料を活用したり交流したりして、自分の考えをもつ。

## 本時②の展開

配時	学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
10	<p>1 前時学習を想起し、本時学習のめあてを確かめる。</p> <p>(1) 水平社について調べたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別をなくす運動に立ち上がり、全国水平社をつくった</li> <li>・ 1922年3月3日京都府岡崎公会堂</li> <li>・ 2千人以上の参加者</li> <li>・ 水平社宣言文が読まれた</li> <li>・ 九州から全国水平社創立大会に、田中松月さんが参加した</li> </ul> <p>(2) 本時学習のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時学習を想起させ、くらしをよくしたり、様々な差別をなくしたりしようとする世の中の動きについて振り返り、本時のめあてをとらえさせる。</p>
<p><b>田中松月さんの証言をもとに、全国水平社創立大会に参加した人々の思いや願いを探ろう。</b></p>		
20	<p>2 証言VTRを視聴し、田中松月さんの思いや願いについて話し合う。</p> <p>(1) 自分なりに田中松月さんの思いや願いを考え、学習プリントに書く。</p> <p>(2) それぞれが考えたことをもとにグループで話し合う。</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <p>&lt;帰ろう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の身を隠したい</li> <li>・ 何も変わらない</li> <li>・ よけいに差別がひどくなる</li> <li>・ うまくいくかわからない</li> </ul> <p>&lt;入ろう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このままでは変わらない</li> <li>・ 何とかしたい</li> <li>・ 仲間がいたら力強い</li> <li>・ 差別をなくす運動をしたい</li> </ul>	<p>○ 証言VTRをもとに、松月さんの気持ちを考えさせ、水平社創立にこめられた思いや願いに迫らせる。</p> <p>○ 証言VTRの内容がわかるように、松月さんの語りを書いた資料Aを準備する。</p> <p>○ 自分なりに考えさせる。 →グループで話し合わせる。 →全体で交流させ、思考を深める活動を通して、学習課題を追求させる。</p> <p>○ &lt;帰ろう&gt;が少数と思われるため、先に発表させる。</p> <p>○ 証言VTRの内容と学級活動の「お茶くみ当番」の学習と重ねて、差別を受けてきた人々の思いや願いを考えさせる。</p>

1 5	<p>3 資料Bの水平社宣言文を読み、「人の世に熱あれ。人間に光あれ」の文にこめられた思いを考える。</p> <p>○すべての人が人間らしい生活をおくり、明るい未来がありますように</p> <p>&lt;熱とは&gt;                      &lt;光とは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の温かさ                      ・輝く未来</li> <li>・優しさ                              ・明るい世の中</li> <li>・思いやり                              ・心配しないで暮らせる</li> </ul>	<p>○ 児童の言葉でまとめられるよう「熱とは」「光とは」と分けて問いかける。</p>
5	<p>4 本時学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差別のない平等な世の中にしたい</li> <li>・みんな同じ人間として、情熱や愛情を持って生きたい。</li> </ul> </div>	<p>○ 資料Cの水平社の全国の広がりや社会運動が普通選挙運動、女性解放運動にも発展していったことがわかる資料を提示し、今後の学習へ意欲をもたせる。</p>

**資料 A**

1922年、全国水平社創立大会のポスターと出会ったのです。言うに言われぬ、嬉しいような恐ろしいような何とも言えない気持ちでした。今までわれわれは、身分をかくそうかくそうという気持ちだったが、自分の方から看板をかかげて大会を開く。そんなことせんでいい、なんでそんなことをするのかという思いと、やっぱりなんとかしたい、どうにかしないといけないという、言うに言われぬ複雑な気持ちで行きました。

会場の前を行ったり来たり、行ったり来たり、入ろうか、このまま帰ろうか、入ろうか、帰ろうか迷いました。

そして思い切って、「九州のものですが、ご一緒させてください。」と言うと「はい、一緒にしなさい。」ということで中に入れてもらい、それから正式に運動に参加をしました。会場に入ったとたんに、今までの胸のつかえなんて、サーッととれて、そういう嬉しさいっぱいでした。

## 「水平社宣言文」(読み下し文)

全国に散らばっている，われわれ差別を受けている人々よ，団結せよ。長い間，いじめられてきた仲間たちよ，明治になって50年，平等だといわれても，実際はそうではなかった。同情やあわれみでは差別はなくなるのだ。このことを思えば，今，われわれ自身から人間を尊敬することによって，自ら，自由と平等を求める集団運動を起こすのは，当然のことである。

仲間たちよ，われわれの祖先は，自由と平等を心から求め実行してきた者であった。きびしい支配政策の犠牲者であり，たくましく社会や文化を支えてきた者であった。心を引き裂かれるようなどんなにきびしい差別の中でも，人間としての誇りは失わなかった。そして，今，その犠牲者のわれわれが，差別を投げ返す時がきたのだ。われわれが，差別を受けてきた者であることを誇りうる時がきたのだ。

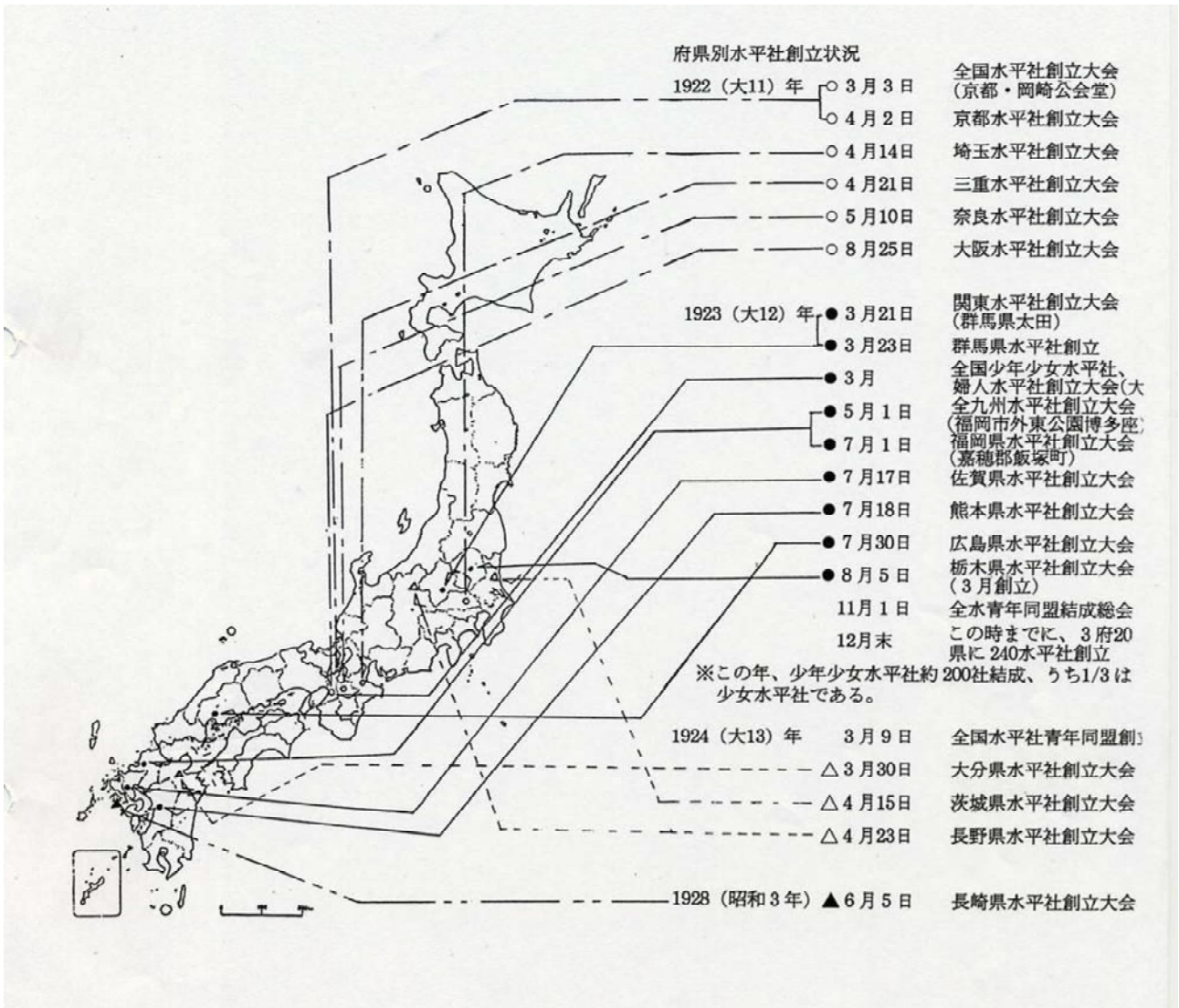
われわれは，自分自身を低くみたり，おく病になったりして，これまでたくましく生きてきた祖先をはずかしめたり，人間の尊厳をおかしたりしてはならない。人の世がどんなに冷たいか，人間を大切にすることが本当はどんなことであるかをよく知っているからこそ，われわれは，心から人生の熱と光を求め，その実現をめざすものである。

水平社はこのようにして生まれた。

人の世に熱あれ，人間に光あれ。

1922 (大正11)年3月3日 全国水平社創立大会

資料 C



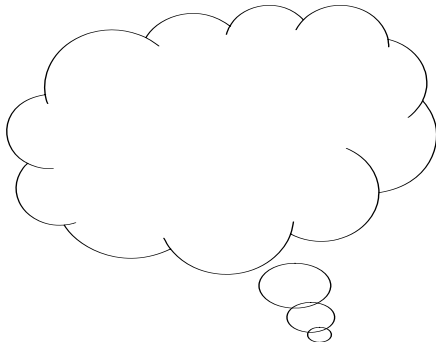
福岡市同和教育研究会「部落史発見」

学習プリント

めあて

1 松月さんは、なぜ迷ったのでしょうか。

帰ろう



入ろう



2 今日の学習のまとめ

Blank box for summarizing the learning.

